

<発表資料>2022年6月14日

News Release

バロールラボ合同会社



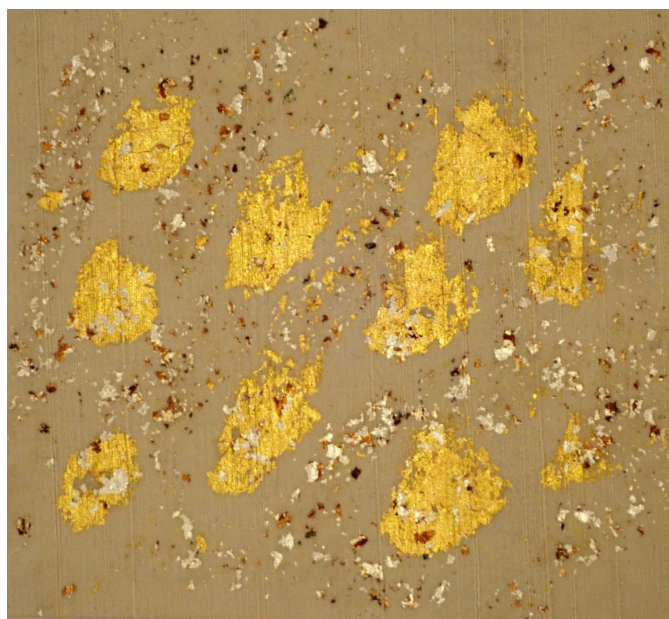
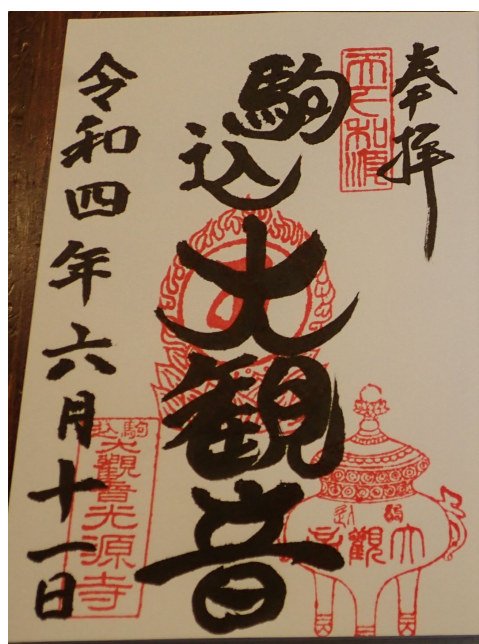
平家納経へのオマージュを手仕事で体験
バロールラボが、谷根千の寺で御朱印帳を制作するワークショップを開催

バロールラボ合同会社(代表・須藤良子)は、アートの手仕事を自宅で一人行うのではなく、何人が集まってすることで、アート体験と癒し効果が得られる「Wish Embroidery 祈りの刺繍」ワークショップ全3回のコースを終了しました。作品は御朱印帳のほか、額装に仕立てました。

講師はヨーロッパ刺繍研究家で刺繍作家の山下ちかこが務めました。開催場所は文京区の谷根千エリアの一角、団子坂上の光源寺で行いました。

参加者が制作した御朱印帳のデザインと作り方は平安時代の平家納経に着想を得たものです。コロナ禍、戦争が勃発するなどの世界情勢に加え、私たちの日常にも多くの不安があります。平安時代に作られた美しい「平家納経」に思いをはせながら、金糸や金箔、銀箔で美しい刺繍の御朱印帳に仕上げました。

講師が下地の布に金泥で基本的な装飾を施し、参加者たちが思い思いの刺繍で飾りました。仕上がった御朱印帳には、ワークショップ会場の光源寺住職より、最初の御朱印を頂戴しました。



<発表資料>2022年6月14日

平家納経は、法華経など32巻からなる平安時代の装飾経で、1164年に平清盛が巖島神社(広島)に奉納しました。清盛が巖島神社に写経を奉納したのは、夢のお告げといわれています。経文は平家一門によって書かれたものです。

パロールラボ合同会社須藤代表は大妻女子大学ライフデザイン学科准教授として、染織史、服飾史の研究者でもあり、平家納経に着想を得たことについて、次のように述べています。

「平家納経の特徴はなんといってもその美しさです。金銀箔や砂子が散らされ、美しい文様が描かれた料紙に経文が書かれています。

このワークショップで参加者の皆さんが制作した御朱印帳には、金箔銀箔、金泥、また金糸ほか色とりどりの刺繍糸が使われています。平家納経の美しさを参加者にも意識していただきました」。



講師を務めた刺繍作家の山下ちかこは、「光源寺の美しい空間とそこに流れる緩やかな時間からこそ、参加者の美しい、個性的な作品が生まれたのだと思います。皆さんの創造性がキラキラと

<発表資料>2022年6月14日

輝くのを垣間見ることができました」と述べています。

バロールラボでは、次回、黄金の円相ブローチを作るワークショップを9月に同じ光源寺で予定しているほか、様々な企画を準備しています。

【ワークショップと会社概要】

Wish Embroidery 祈りの刺繍 ワークショップ／ 第1回 2022年4月9日／第2回 5月14日／
第3回 6月11日／会場 光源寺(東京都文京区)

バロールラボ合同会社(代表・須藤良子 東京都文京区)はアートとライフデザインに関する業務を企画運営しています。

問い合わせ先 info@valorlab.jp
HP https://www.valorlab.jp/

Instagram

